

佐土原委員

- 私たちの社会は、これまでの経済発展を重視する社会から、コロナ禍を経験して、命を大切にす​​るポストコロナ社会へと移行しつつあると考えられ、これからは命のつながりである生態系がより重要な意味を持つのではないかと思います。日常の生活に様々な恩恵をもたらすとともに、気候変動などによって激甚化する風水害などの非常時の災害リスクも軽減してくれる生態系を、命がキーワードとなるポストコロナ社会グリーンイフラとしてしっかりと位置づける、といった考え方を「かわさきフェア」の一つのメッセージにしてはどうかと考えます。

- 「川崎ならではの多様な緑と人を結びつける (p.7)」と書かれており、「くらしと密接した環境」と「川崎の多様な緑」の図が示されていますが、相互の関連を、「生態系サービス」※注)の内容をふまえて関連づけると、よりわかりやすくなるのではないのでしょうか。

※注)「生態系サービス」には、「基盤サービス」(光合成、栄養の循環、水や空気の浄化など)「供給サービス」(食料や資源の供給)、「調整サービス」(暑熱化の緩和や災害軽減など)、「文化的サービス」(人のつながりや文化を育み、レクリエーションの機会や安らぎを与えてくれるなど)の4つがあるといわれている。

- 「地域愛の醸成を促す「みどりムーブメント」を推進 (p.8)」するためには、今後も発展していく情報技術を活用することがますます重要になると考えます。

渡辺委員

- 今回緑化フェアを支える多様なステークホルダーの重要性。
- 川崎市、かわさきフェアはもちろん主催者になるのですが、川崎の未来をデザインする市民、大学、小中高、幼稚園、市民クラブ、NPO、海外留学生、国内外企業、各種団体等が、主体となり得る。
- 推進構造を早めに準備し、その役割を明確に持ち、推進準備を実行して欲しい

反町委員

- このたびは欠席となり申し訳ございません。コロナの影響は避けきれず、弊社従業員が陽性となったことでわたくしも濃厚接触と認められたことから、出席することができなくなりました。なお、私自身は体調に変化なく PCR 検査の結果は陰性でした。
- 頂戴した構想の資料に書かれたテーマや方向性については、素晴らしいものであると思います。これをベースに他の委員の皆様のご意見を反映させながら進めていければと思います。
- 私の考えとしては、今回の鍵はいかに市民の方を巻き込み、周知するだけでなく「成功させよう」という思いを共有していけるかと（何かしらの形で）実際に参加していただけるか、だと思っています。

【Web の活用】

- youtube、SNS 等。市にゆかりある趣旨に賛同いただけるインフルエンサーに協力依頼
こういう方々に、取り上げてもらうか、あるいは PR 用の動画を作ってもらうのも面白い気がします。

【地域のつながり】

- どんなにネットが発展してもリアル・アナログは大事。特に川崎市の商店街がもつ力は、ぜひご活用いただきたく思います。例えば、この緑化フェアの周知や参加・協力することを示すポスター・シールなどを作るとしたら、商店街の各店舗ほど市民に身近な場所はないと思います。
- あとは上記の有名人の方に、リアル学校訪問などで PR していくのも子ども達に周知できて良いように思います（リアルはなかなか難しい時代になってしまいましたが）。
- あとは、地域の既存のイベントとコラボ。ブース出展であったり、ステージプログラムの一部をいただいでの PR など。これは私自身のつながりでがんばれるところですので、ぜひご検討ください。
- それから、市内の商業施設単位で協力をいただくのもありではないかと考えます。例えば LA CITTADELLA さんなど。施設内に緑もたくさんありオシャレな施設です。
- 簡単ではございますが、以上のような形で大丈夫でしょうか。

本日は申し訳ありません。出席できなくてとても残念です。

委員の皆様方にどうかよろしくお伝えください。